

教会のための祈り

2023年7月16日

エペソ人への手紙 1章15～23節

序：三位一体の神の救いの御業

父 子 聖霊
選び + 恵み（贖い） + 信仰 ⇒ 救い

神のご計画は罪人を救い、救われた罪人たちの群れ＝教会を建て上げること

救いの証明：聖霊が信じる人に与えられる 聖霊の証印
御国を相続する保証（手付金）

目的：神の栄光がほめたたえられるようになるため

I. エペソ教会のためのパウロの祈り

(1)感謝 主イエスに対する彼らの信仰
すべての聖徒に対する忠実さ

牧者の務め：みことばと祈り

” 喜び：聖徒たちが霊的にも全人的にも健康、霊的に成長すること
神への信仰と隣人への愛において、豊かにされていくこと

パウロは獄中で、エペソ教会の良い知らせを聞いて喜ぶ（エパfrasから？）
感謝し、とりなしの祈りを絶えずささげる

(2)祈願

①神の偉大さを知るように

栄光の父が、神をさらに深く知るための知恵と啓示の御霊を与えてくださる
啓示：神聖な奥義を知る洞察力 ように

イエス・キリストの神

②よく見えるようにされた目で見ることが何か、どんなものかを知る

a. 神の召しによって与えられる望み（神の召しにかかわる大きな希望）
復活、キリストの御姿に似る、キリストと共に治める、御国を相続する

b. 聖徒たちの受け継ぐものがいかに栄光に富んだものかを知る

c. aとbを実現する神の全能の力（発動、働きにより発揮）を知る

神の力は巨大で十分だと知り、確信するように

例：無から有を呼び出された創造者

キリストを死からよみがえらせた方（死 ⇒ 生）

昇天、着座、永遠にすべての被造物とは別の最高位に

d. キリストの比類なき権威を知る

すべての御使い、人間は持っていない（与えられていない）

父が御子のみにお与えになった永遠、不変、至高の権威

II. キリストは教会のかしら

- (1)卓越した至高の權威をもって永遠に治められる御子イエス・キリストが、父によって教会に与えられた ∴からだなる教会もそのかしらゆえに卓越
- (2)聖徒たちはからだの細胞、地上の各教会は天の公同の教会の一部、教会はただ単に信仰者が集まっているものではない
- (3)唯一のかしらキリストに結び合わされた有機体（いのちがあり、活動、成長する）が教会である
- (4)天地・宇宙に満ち満ちた恵みや祝福に加えて、それらの与え主であるキリストご自身が満ち満ちておられる所が教会である

III. 結び

- (1)ひとり一人を救いに導かれるのは、三位一体の神の御業である
それは、教会を建て上げる目的をもって為される
- (2)信者たちはばらばらに孤立した存在ではなく、キリストをかしらとするからだ（教会）に属し、結び合わされる。からだ全体が調和をもち、補完しあって、活動、成長する
- (3)教会は神の恵み・祝福だけではなく、それらをお与えになる主ご自身が満ち満ちておられる所である
- (4)主が喜ばれ、そして牧者が感謝することは、聖徒たち、教会が信仰と愛において励み、成長していくこと
- (5)そのためには、神をさらに深く知ること、神に祈ること（とりなしの祈り）が必要
召しによって与えられた望み
御国を相続する光榮
神の無限の全能の力
- (6)クリスチャンを演じることで、自他ともに欺いてはいけない
演じるのではなく、生きなければ
- (7)現状に甘んじないで、さらに向上をめざす、 上は限りなく開いています